

R3 環境活動(育)の取組

若園小に「田んぼ」ができました!! ~5年生が田植え体験~

まずは田んぼ作りから



種もみから育てました



メジャーで間隔を測りながら植えました

5年生が「総合的な学習の時間」の一環で、梅雨の晴れ間に田植えをしました。今年度は、例年個別に育てている「バケツ稲」に加えて、中庭の大きな水槽に土砂を入れ、本格的な田んぼをつくることから始めました。最近、田植えを経験したことがある子がほとんどいません。子どもたちは初めて触れる田んぼの土の感触に歓声を上げたり、ずぶずぶと埋まる泥に足をとられたりしながら、楽しそうに田植えができました。

水の管理、野鳥の侵入管理、雑草の管理・・・さまざまな苦勞と工夫を重ねて育てる農業の厳しさを実感してほしいと思います。また、その苦勞の先に、秋には金色の稲穂がたわわに実るのを楽しみにしています。

現在、他の学年も作物をいっぱい育てています。「自分で育てた食材を加工し、自分で食す旨さ…」という食育の原点をしっかりと味わってほしいものです。

たくさん収穫できました。

あいりす・ひまわり学級は、たくさんの野菜の栽培をしています。6月下旬には、早くも大根を収穫。大きな大根を土から引き抜くたびに歓声があがっていました。ロケであいにく調理ができないため、みんなで分け合って家に持ち帰りました。自分たちで育てた野菜の味は、きっと格別だったことでしょう。ニンジン



田んぼにカラス現る!?

5年生が育てている田んぼにカラス出現!!と思ったら、5年生のアイデアで作られた“かかし”でした。このかかしが、本物のカラスやスズメを追っ払ってくれるといいですね。



たわわに実りました ~5年生、稲刈りを体験~

5年生は総合的な学習の時間に6月に田をおこし植えた苗が、金色の稲穂にまで育ちました。これまでこまめに水の管理や雑草の管理など、愛情をかけて丁寧に育ててきた稲を、22日に刈り取



りました。刈り取った稲穂は束にして、温室でただいま乾燥中です。

子どもたちは、3か月にわたって稲を育てる活動を通して、普段何気なく食べているお米の成長過程や成長に応じた手入れや管理、そしてなによりも農業の厳しさや収穫



の喜びを実感したことでしょう。

育てたお米は炊いて「若園米」を食するそうです。味わい深いことでしょう。